夕刊
いわき民報
発行所
平市田町48 電381 1222
いわき民報社
編集兼発行人印刷人 田原登

削減列車を復活
十一日から通常運転

水鉄局では十一日から石炭不足で削減していた列車ダイヤを全部復活する、このため常磐線では運休だつた下り準急二〇七列車、上り急行"みちのく"の二本並びに区間運休だつた三列車が復旧、これで十一月末現在の平常ダイヤに復することになつた、なお急行券制限などの一切の制限も解消する、復活列車、区間復活列車は次の通り

▼下り準急二〇七列車（平発三時六分）▼上り急行三二〇二列車"みちのく"（平発一六時四十三分）

区間運転の復活列車▼上り二三二列車（平発一九時四十五分）仙合−水戸間を仙合−土浦間に▼上り三二〇列車（平発六時五十八分）富岡−水戸間を富岡−上野間に▼下り二二七列車（平発十三時三十八分）上野−仙合間を上野−一ノ関に

五億二千万圓
昨年の水揚げ高

小名浜漁協組では昨年に取扱つた魚介類の水揚金額及び貫数を集計中だつたが七日纒つた、これによると総水揚金額五億二千三百七十八万九千三百十六円で二十六年に比較八千八百万円の増加となつている、これは地元船、県外船を含む二万五百八隻による水揚げで総水揚貫数は四百六十九万五百貫に達し魚介類別でみるとサンマが一億四千六十四万五十八円、二百三万三千貫で筆頭を占めイワシの八千四百七十五万四千六百五十円、六十三万二千貫がこれに次いでいる、月別ではサンマ盛漁期の十一月八千三百七十一万四千九百八十三円、十二月の八千三百六十万五千九百一円が断然多い、また二十六年のサンマ、イワシの水揚金額並に貫数はサンマ二億二千五百三十五万二千七百四円、百八十九万三千貫でイワシは十七万三千貫だつた

植田と内郷に
更生相談所
毎月一回開く

石城福祉事務所では本年度から更生相談所を新しく植田町、内郷町に開設、身体障害者の更生、戦傷者の更生相談、児童福祉未亡人の更生その他生活相談に応ずる開設日は毎月十日（午前十時から午後三時）は植田町役場毎月二十五日は内郷町役場

舊正月助け合い運動
來る十五日から全市に展開

平市愛の運動協議会では十五日から三十一日まで旧正月たすけあい運動を実施する、これは留守家族戦歿者遺家族の困窮者その他の生活困窮者に対しモチ代を贈ろうとするもので各町内の民生委員の手を通じ各家庭に同情袋を渡しお金や一握の米でも寄附してもらおうというもの

森田支配人視察

森田国鉄関東総支配人は九日来平し平駅業務の初視察を行い午後一時から鉄道職員と膝を交え座談会を開く

市の成人式
映畫會も開く

平市、市教育委員会では十五日の『成人の日』を迎え、第五回成人式を常設映画館、世界館に午前八時から昭和八年生の青年男女約九百名を集め挙行する、当日は諸橋市長の式辞、来賓の祝辞につき成人代表の答辞、万才三唱を行つて後、映画鑑賞（題名未定）を行つて解散することになつた

場外賣場移轉
適地を目下物色中

平競輪三丁目場外売場は東邦銀行の新築により移転を余儀なくされ市当局では目下適地を物色中であるが第一候補地として平消防署東向の元三井邸の百坪の空地を借りることにし十九日諸橋市長が三井氏と交渉のため上京する、これが困難の場合は紺屋町料亭西鳳の空地三百坪か又は佃町平木工所附近の空地を候補にあげているが兎に角、一月末までには解決せねばならぬと気を揉んでいる

改正運賃説明會

平駅では十日午前十時から平市田町鉄道クラブで来る十五日から改正する鉄道旅客荷物運賃改正説明会を関係者各業務機関を集めて開く

農業改良會議
九日に開く

石城地方農業改良指導所地区主任会議は九日午前十時から石城地方事務所会議室で開き農村食生活改善実演コンクール開催、レンゲ草の栽種法共進会開催、農村青少年育成強化などにつき協議する

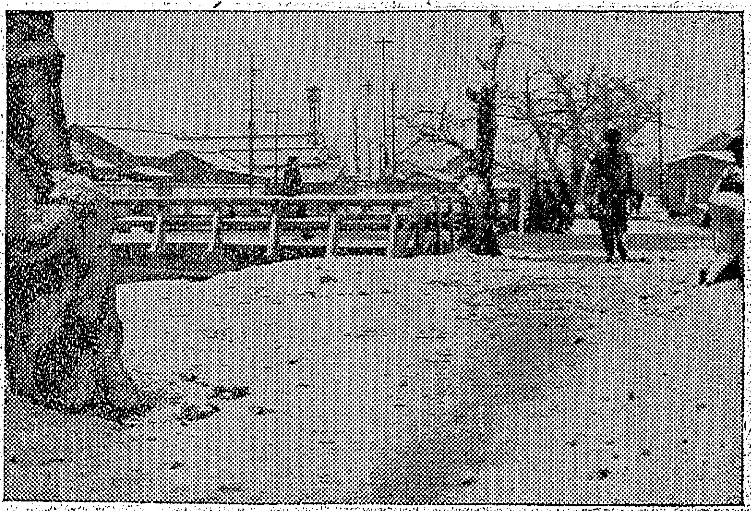
民報論壇
消防團長問題の眞相
田原 登

伝統を誇る平市消防団長問題が新年早々再燃し紛糾している現団長松本金市郎氏に対する不信任運動がぼつ発したのである何故に斯うした問題が惹起したのであろうか、その根本原因を糾明して見なければならない。

昨年の新年早々に松本現団長の任期満了によつて後任団長問題が起るや旧市内の第一、第二第三分団の人々は団長は旧市内の人でなければ防火の指揮に当つて困うには不都合であるという処から内木宗八博士を団長候補にかつぎ、一方松本団長は主として平窪、神谷、飯野等の新市内の団員から押されて選挙による団長選任を図り相争つて結局政治問題に発展して諸橋消防長、山崎公安委員長らが仲に入り妥協工作が成功して一先ずケリがついたのであつた。

その妥協工作というのが団長には松本氏が就任する、但し春期検閲後一カ月前後において松本氏は辞任して内木博士に後任団長のお鉢を廻すというのであつた、つまり問題の二人共団長になると云うことであつた、ところが春期検閲が終つて約束の期日が来たが松本団長はこの紳士的協約を無視して辞任の色がない、一パイ喰つた形になつた内木擁立派は騒ぎ出し山崎公安委員長の口約不履行をなじつて詰め寄つた、この結果今年の出初式前に解決して出初式は新任団長の下で行うことになつていたのである、然し新年になつても松本団長は居据りを策して紳士的口約をホゴとし一向に辞任する肚が見えない、それで新年早々から又ぞろ問題化したのであるが、松本団長は今度は辞任してもよいが後任には山崎忠兵衛氏とすること、斎藤光政副分団長ら三名の解職という条件を持ち出したのである、これでは内木擁立派が納得するわけがない、飽くまで口約の履行を主張して紛糾しているのである、こうなつては妥協工作に口をきいた市の元老であり人格高潔といわれる山崎公安委員長の面子が何処にありやというところである、更に松本団長もこの妥協工作によつて面子を立て、貰つて団長になつたのであるから綺麗に約束を履行して辞退しなければなるまい、何故に恋々としてその椅子に齧りつかうとするのか、われ〳〵の解釈に苦しむところである。

一方内木博士は面目をじゆうりんされた形に追い込まれているこの人の面子をどうして呉れるのか、ことを平和裡に解決する手段は約束を履行する以外に手はないと思われる、平市の平和のため山崎委員長の一段の考慮と尽力を期待したい。



今冬の初雪−寒入り二日目七日夜半からチラついた雪は八日暁方までに約三㌢、うつすらと街に化粧して朝日にキラ〳〵と映え美しい様相を呈した（写真は新川畔にて午前七時撮す）

けさ初雪

七日夜半から気温がぐつと下り降り出してした小雨が雪にかわり八日午前五時半ころまで降り続き七㍉の積雪をみた、小名浜測候所の観測では旧臘十二月二十二日、二十六日に続く三度目の降雪で積雪をみたのはこれが始めてだという

演劇やのど自慢大會
小名濱の成人祭行事

小名浜町並に同町公民館共催の成人祭は"成人の日"の十五日午前十時より公民館ホールで挙行する同町の成人該当者は四百二十三名（男二百二十八名、女百九十五名）で成人証書及び平和の鳩に成人と染めぬいた手拭を贈呈する、なお小名浜演劇研究会上演の県演劇コンクール入賞劇『東は東』成人者のど自慢大会、婦人会、青少年団体などの余興が催される

森合團長
任期満了

植田町消防団長森合秀男氏は来る十五日をもつて任期満了となる、幹部側の意向によると四国の事情から推して今にわかに後任者を決めることは紛糾を醸すことになりはせぬかと憂慮されるので推薦は三月に持ち越すものと思われる、何ずれにせよ近く幹部会を開いて推選問題について協議すると語つている

人事

小名浜海上保安部警救課哨戒係長池田喜好氏は五日附で下田警備救難所（第三管区）配属巡視船しきね（四五〇㌧）首席機関士に発令、後任は未定

天気予報
（八日）

【今晩】北西の風はじめ時々や、強くよい天気ですが山沿では雲が拡がりシグれる【明日】北西の風よい天気、海上は今晩北西の風時々や、強く風波がありますから漁船は注意

（父）**水竹泰助**儀予てより病気療養中の処薬石効なく昨六日午後二時長逝致しました生前の御交誼を深謝致しますと共に茲に御通知申上げます

追つて葬送の儀は来る十日午後一時自宅出棺市内菩提院に於て仏式により執行致します

昭和二十八年一月七日

平市紺屋町五五
喪主 **水竹甲子郎**
親戚総代 水竹伊之助
旅館組合代表 武田徳治
友人総代 小野寛美

興源院葬送に際しましては御多用中の処遠路態々御会葬下さいまして誠に有難うございました

早速参上御礼申上ぐべきですが略儀ながら紙上以て御礼申上げます

昭和二十八年一月八日

平市鎌田字小山下二五
喪主 **阿部長兵衛**

外科 放射線科
安斎醫院
院長 安斎 徹
副院長 広野 恵三
平市田町電四七五

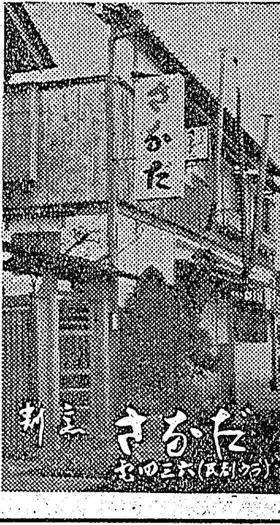
はかりは 藤 藤森

季節料理
すき焼 牛
洋食
平田町
¥200.00

明九日一日限り
謹んで休業いたします
大黒屋

しもやけの手で握手は御免
外国人のように握手の習慣がなくてもひびやあかぎれの手では美しいお顔も台なし。毎晩コールドクリームでマツサージすることが唯一の予防法です。
●コールド 一〇〇円より
●スチツク 一五〇円〃
●絶対落ちぬ口紅 一五〇円
停電にも明るい藤越
越
藤越 小名浜 平市

求 寫眞焼付技術者
満十七−三十才 多少有経験
市内在住（通勤可能）委細面談
平・紺屋町電一三六五 飯田カメラ店

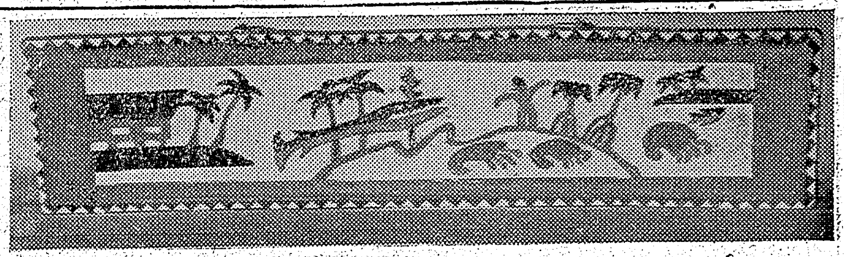


明ルい閑静な部屋
家テい的な雰囲氣
成ホどと思し召す
行キ届いた御奉仕
まタ今度は奥様と
御コし下さいませ
湯本−小名浜間バス 小滝前下車 電小名浜103

出前迅速
寿司の 江戸川 才槌小路電一〇二一
関西料理 鍋料理
割烹 江戸川
紅小路電一四五六

獨特の技術
最高峰を往く

靴専門店
菊一
平 三 電446



わが家の逸品

南方土人の額

鈴木研究所長が祕藏

平市正月町五五東北金属化学研究所長鈴木新兵衛氏秘藏の『木彫の額』は南方セレベスの素朴な土人の作品である。恰もピカソやマチスが画くのと似ている、大胆な構圖、そして額として整つている、彼等が毎日の生活の中に眼に映じたものを卒直に表現したもので室内にこれを掲げて装飾としている、非文明人にもこうした美術眼を備えているのである、色彩は炭より得たる黒色草木の花より採つた朱色、白色は石灰で、この原色は原住民族の木彫に施す共通の色彩である、鈴木氏は南洋の土俗工芸の調査のため南方を一廻りしたとき集めた品の一つで引揚げのときもこれだけはどうしても捨て去ることが出来ず苦心して持ち帰つた家宝であるという

學校劇發表會

十一日平三小で開催

平、石城学校劇連盟では十一日午前九時から平三小講堂で学校劇発表会を開く、講師は日本児童劇作家協会長斎田喬氏で出演校は童話劇『二つの丘』平三小、同『うさぎのおみみ』平四小、同『みにくいあひるの子』平三小、児童劇『遠足』湯本一小、同『鳥になる子供』御厩小、生活劇『ジヤツクナイフ』平三小、同『ふるさとの春』四倉小、放送劇『三太と化けだぬき』高坂小、默劇『ことばのない国』平五小の七校で入場無料

食生活の改善實演コンクール

廿二日から四方部で開催

県主催の農村食生活改善実演コンクール石城郡地区別大会は次の日程で開催する、競技は農家食生活の改善を目的とした農民婦人の創意工夫による料理及びその地方特有の料理の紹介発表などで参加申込みは十九日まで各地区指導所となつている

▼二十二日午前十時から沢渡小学校(参加は三阪地区農村婦人)▼二十四日午前十時から植田公民館(参加は植田地区農村婦人)▼二十六日午前十時から小名浜公民館(参加は湯本地区農村婦人)▼二十八日午前十時から平市堂根町石城農業会館(平地区農村婦人)

小名濱局の簡保運動

小名浜郵便局では本年度の簡易保険、郵便年金の加入募集を仕事初めの五日から開始した、本年度の目標額は保険契約金五千四百九十三万円(保険料廿五万四千四百円)年金十四万八千円(掛金)で昨年度に比較すると保険では契約金百九十三万円、年金では一万九千円にそれぐ増えているので早期完遂を目指して全局員が早くも加入勧誘に乗り出した、同局では全掛金の六分割引きの利点のある部落職域、地域別の団体加入を特に勧めてゆく方針だと云う、なお旧臘月額三千円以上の高額契約協力者として小名浜町長水野政次郎氏以下四十名に感謝状を贈つた

船員が重傷

静岡県榛原郡御前崎伊村徳平さん所有のカツオマグロ漁船福神丸(一五一トン)の乗組員同村字上岬植田隆さん(三五)は七日午前八時ごろ茨城県平潟町の沖合で操業中揚縄用ベルトに巻きこまれ右腕及び左大腿部を骨折、八日小名浜町松田病院に入院した全治一カ月の重傷

市役所の前に病院

竹林博士が建設計畫

平市役所東前の空地は早くから住宅地又は事務所を新築するのに適当な場所だ―と心ある市民の注目をひいていたがこの程竹林病院がこの土地の所有主南町の佐藤栄次郎さんから坪二十五円の地代で全部(五百坪)をかり受けることに決まつた、この土地は大部分が埋立てされていないので竹林氏が二十万円で埋立てして借りることになつたワケだが、この土地に五十ベットの病院を本年中に建設する見込みである、今の病院は十五丁目鈴木タマさんからかり受けているもので契約期限は後二年

東邦でも新築

地上三階 七月に完成

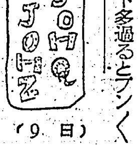
東邦銀行平支店では兼て三丁目平競輪場外売場南側に新舍屋を建設する計画中であつたが愈々本月中旬から郡山市、白鳳社の請負で着工することになつた、新築費三千四百万円で地下一階、地上三階の鉄筋コンクリート建てゞ七月一杯で完成の予定、敷地は百三十坪、なお地下一階を設ける場合相当水が湧き出されるだろうとみられていたが再三の地質調査の結果、二間位地下になると地盤が相当固いことが確められた、この地下は敷地が少いため設けることになつた

老人をなぐる

赤井村西小川堂平龍王炭鉱班目亀雄(三九)は昨年十二月一日夜八時半ごろ同村同字石材業坂本半次郎さん(七〇)と口論、坂本さんが『同学の樋が破損するのは龍王炭鉱の排水のおかげだ』と云つたのに憤慨し坂本さんの顔面を手鍬で二、三回殴つた疑いで七日平地区署から書類送検

内郷高校では十日から沢渡中に季節分校を開設し僻地青年教育の振興を図る、開設式には県教育委員黒木喜一氏が来校する

平市商工課には連日地代家賃の相談者がおしかけて来ているが、これはその一例―平市四丁目飲食店松本代吉さんは家主百沢商店から三十五坪五合の家賃として月六千円づゝとられていたが今度の改訂値で値上がりし一躍一万二千円支払つてくれと話かけられ、ビツクリして商工課に相談に来たもので今度の改訂基準により計算した結果、三千円が公定値と判りこれの四倍ではチト多過るとプンく



(9日)

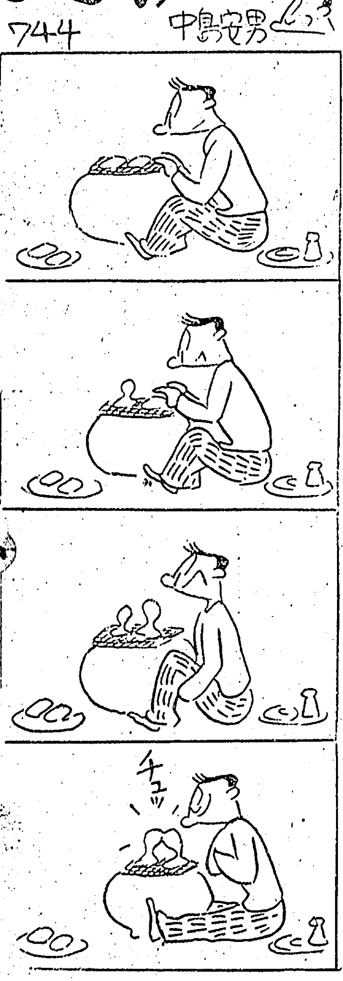
前七・一五 皆さんの声

後六・四五 ラジオ文芸 短歌 天野多津雄

第2

後六・三〇 教師の時間『地方教育委員会の運営について』佐藤光

ヘイさん 744 中島安男



婦人服は あかや

名物珍菓 じゃんがら
荷造無料 地方発送承ります
平・田町 電六九一 みよし

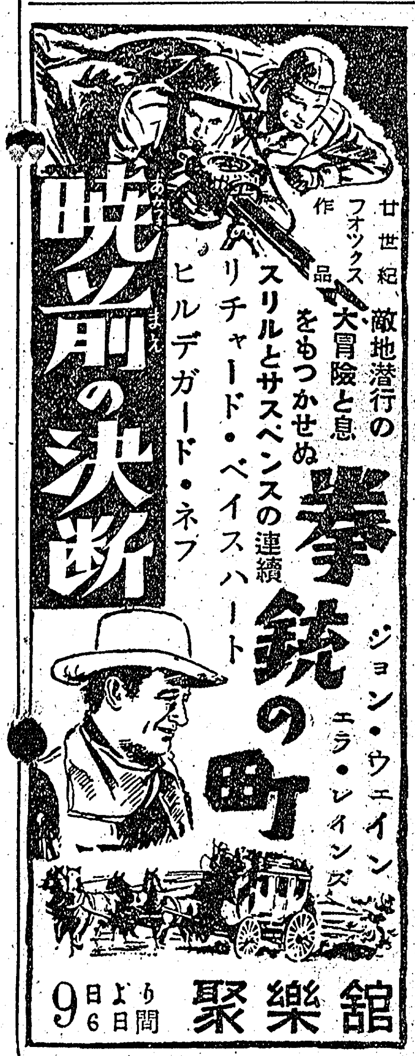
蛇の目ミシン
平市南町電九六〇
草野ミシン商會

新東寶の哀涙情緒篇!
花火の舞
岡晴夫 花柳小菊 重光あきら
川内康範原作
二人の母
三門博と天津羽衣の浪曲映画
折原啓子 小畑やすし 浜田百合子
9日より六日間
民劇

眞珠のごとき戀の映畫!!
ハワイ・ロケの新東寶特作
ハワイの夜
鶴田浩二 岸恵子
水の江瀧子 御園裕子
三橋達也 水島道太郎
唄祭り清水港
歌に明け喧嘩に暮れる清水港の仁侠篇
北上弥太郎 宮城千賀子 高千穂ひづる
大木実 高田浩吉 笠置シズ子
同時上映 浪曲映画 流れる旅路
9日より6日間 三本立
平館

映画は大映
あの手この手
可愛いくつて無鉄砲で純情型で行動派のアプレ娘その名をアコ! アコの行くところ現われるところ微笑、こう笑、泣き笑い!
久我美子 水戸光子 堀雄二 森雅之
同時上映 紅い灯
9日より6日間
世界館

眼科
眼科醫院 明雲堂 新妻幸男
平市田町仲通り ひかり座 電話669番



廿世紀フォックス作品
暁前の決断
敵地潜行の大冒険と息をもつかせぬスリルとサスペンスの連續
リチャード・ベイスハート
ヒルデガード・ネフ
拳銃の町
ジョン・ウエイン
エラ・レインズ
9日より6日間
聚樂館

東寶映畫の話題の傑作一擧に上映!!
新春を飾る豪華第3彈!!
9日より大公開
東宝
丘は花ざかり
青い山脈 山の彼方にの昂奮と感激を再びこゝに
大東寶の贈る青春躍動篇!!
あゝ青春よ生活の密蜂花の乙女の惜春の戀!!
原作 石坂洋次郎
製作 藤本真澄(朝日新聞連載)
脚色 井手俊郎
〃 水木洋子
撮影 中井朝一
監督 千葉泰樹
木暮実千代 山村聰
上原謙 高杉早苗
池部良 志村喬
杉葉子 清水将夫
ひかり座
春風と共に颯爽と
登場するのはお馴染サラリーマン映畫!!
サラリーマン モットー(1953年版)
一、社員は月ブの洋服を着るべし
一、社員はすべからくパチンコを行うべし
一、高級社員は2号を女中に使用すべし
一、社員は自前で飲酒すべからず
右厳守せぬ者はオールいかんのである
森繁久弥 小林桂樹 伊豆肇
八千草薫 島秋子 沢村貞子
藤間紫 小泉博
三等重役 兄弟篇
一等社員